

# 若竹だよい

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等



分校建設状況

## 【巻頭言】

### 人とのつながり

園長 宮竹 恒

五色台の山々の紅葉が美しい季節となりました。週末には、紅葉狩りを楽しまれる観光客の方、お遍路さんも増えています。

学園の子どもたちは、スポーツの秋を迎えています。屋上運動場でフットサルを毎日のように行っています。毎年、恒例のウォークラリーに向けて、遍路路を歩く練習も開始しました。



コロナ禍が始まる前は、当たり前のように行っていた活動や行事を中止することが多くなりました。人と接する機会が少なく

なり、子どもたちにとっても経験できる機会が失われているように感じていました。コロナ禍、ゲームやインターネット等で遊ぶ子どもが増えていると聞きます。人とのつながりを学び、感じるには、人と接する機会が何より大事に思います。コロナ感染拡大防止には、人と距離を置くことは仕方がない面もありますが、子どもが子どもらしく遊ぶ機会が失われているように感じます。

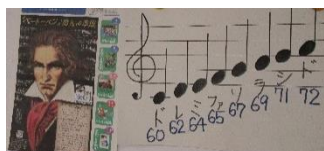
学園の子どもたちが、学園での生活をどのようか感じているかは様々だと思います。不自由を感じることも多いかもしれません。

しかし、子ども同士で遊ぶことができ、スポーツができ、時には喧嘩もしながら過ごすことが出来ることは貴重な機会であると思います。来月実施予定のウォークラリーでは、子どもたちが協力して遍路路を歩き、あらたなつながりが出来る機会になればと考えています。

# 青峰・若竹学級だより 11月

## 曲作りに挑戦

小中合同授業で、GIGA 端末を使った曲作りに取り組みました。プログラミングができる Scratch（スクラッチ）というソフトを使って行う作曲で、使用する楽器はもちろん、音階や拍の長短を工夫することによって、世界に一つだけの曲を作ることができます。



教師による簡単な説明の後には、思い思いにパソコンを操作し、曲作りを楽しんでいました。12月には発表会も実施する予定です。



## 学習の診断&期末テスト (中学生)

中学3年生は、11月15日（火）に第4回学習の診断を実施しました。3年生にとっては進路を決めるための重要な時期となるので、自室での学習時間を有効に使い、意欲的に学習を重ね、全力で頑張りました。

また、11月30日（金）からの3日間学期の総仕上げとして期末テストを実施しました。日頃の勉強の成果を発揮しようと、真剣に受験していました。



## 秋の深まり

下笠居小学校、中学校から五色台の坂を進むと、標高が高くなるにつれて、徐々に紅葉の鮮やかさが増し、赤や橙、黄などが入り混じったトンネル状の場所は圧巻の光景です。



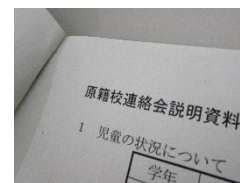
学校周辺でも、11月初旬から木の葉が色づき始めました。子どもたちは、総合的な学習の時間などで出歩くときなどに眺めたり、落ちて来る葉を捕まえようと走ったりして、秋の自然を楽しんでいました。近くの根香寺の紅葉も美しかったです。



## 原籍校等との連絡会

先月末には、小学6年生、中学3年生の原籍校の先生方と関係機関の方にお越しいただき、「原籍校等との連絡会」を開催しました。

進路に向けての話し合いと児童生徒との面談を実施することができました。出席された皆様、ありがとうございました。引き続き、連携して進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。





## 内覧会



工事現場の方々と協力し、安全に配慮しながら内覧会が実施されました。



子どもたちが、体育館ができる予定の場所を見まわしてバスケットボールやバドミントンなどを皆で楽しくしている姿を想像して期待に胸を膨らませている様子がありました。

また、今までなかった音楽室や理科室・美術室などやこれまでよりも広い教室を見学して歓声があがっていました。「普通の教室や！」の声もあがり、本当に分校建設に取り組んだことが間違いなかったと思いました。

いつもは、工事で遊び場所が狭くなったと苦情を言っていた子どもたちからも喜びの声が聞こえてきて、苦情も少なくなった気がします。

## 不審者対応

不審者が学園に来た場合を想定して訓練を行いました。



刺股や椅子を使用しましたが、簡単に手で払いのけられてしまうなど、多くの職員が、上手くできませんでした。改めて、刺股の置いている場所や使用方法を確認しました。



災害やコロナ対策同様、子どもたちや職員全員の命を守れるように訓練を継続して行っていきます。

# おやつづくり

新しくできる分校の上棟式の餅投げ拾った縁起のいいお餅を使用して、ぜんざいを子どもと一緒に作りました。



子どもたちは、食器を用意したり、レシピを見ながら料理をしたり、手際よく作ることができました。

餅が焼けると完成なので、オーブントースターの周りに集まってきて、待ち遠しそうにずっと眺めていました。出来上がると美味しそうに食べていました。おかわりをする子どもいるぐらい大好評でした。



手軽に作ることができるので、正月にでも子どもたちと一緒に作りたいと思いました。

## 研修に行ってきました。



コロナ禍、オンライン研修が多かったが、秋頃から通常の研修が開催されるようになり参加しました。事例検討を通し、参加者の方

から学ぶことが多くありました。日々の子ども支援に活かせるよう、全職員に共有していきます。

### 全国児童心理治療施設職員研修心理治療部会

10/26~27 岐阜市文化産業交流センター

テーマ『児童心理治療施設の専門性

～改めて生活の中の治療とは～』

参加者：セラピスト 西・小田

### 全国児童心理治療施設 中四国ブロック職員研修会

テーマ 「子どもを支える連携と協力」～生きづらさを抱えた子どもたちを支えるために～

令和4年11月24日(木) 高知会館

参加者：園長 宮竹・セラピスト 小田

児童指導員 山西

## 11月行事

21日	買物外出
23日	分校内覧会・おやつ作り

在籍人数 令和4年12月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	2	0	2
中学生	7	1	8
合計	9	1	10

### 編集後記

徐々に落ち葉も

増えてき、冬の到来の知らせを感じます。

11月にはインフルエンザ予防接種も受診しました。健康第一に子どもたちと楽しく過ごし

たいです。 小田

### 第434発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

